

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリーくすくす			
○保護者評価実施期間	R7年10月1日 ～ R7年11月1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R7年10月1日 ～ R7年11月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者対応を強化している所	・SNSを使い保護者が考えている事や、悩み、利用の調整など時間を問わず出来るところがメリット	・上手くできているのでそこは続行。近況を報告するSNSの発信も必要
2	・個々の支援に対応している所	・強度行動障害やてんかん発作が起きた時などの対応方法を想定し、一日の流れを組んでいる	・より多い利用者に対応できるような事業所にしていきたい
3	・静岡までの送迎に出ている所	・焼津、藤枝在住でも静岡にある専門的な学校へ通っている利用者へ保護者になり送り迎えの半分の送迎を担っているところ	・同じ学校の利用者を増やすことで、事業所のリスクを減らしながらも保護者へのサービスが実現できるよう利用者獲得をしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・プログラムの固定化されないよう工夫しているかの質問に「いいえ」があったこと	・定着支援や曜日固定で活動が決められている事で、利用者自身が何をやる日がわかる事を目的にこのようにしている	・少数の意見なので、自分たちのカラーをそのまま通そうと思う。内容は常に違うものにし、季節や支援計画に沿ったものを提供している
2	・地域の児童との交流がないこと	・公園で挨拶をするくらいしか、コネクションがない	・公園にて交流できる時には、積極的に関わりを仲立ちする
3	・ベアトレや交流会などを実施していないと言われてしまっている事	・個々にベアトレが必要な保護者には行っている。交流会はやっていないが、兄弟参加のイベントは行っている	・SNSなどを通し、発信していく事が必要と感じる